

船舶事故等調査報告書

平成24年7月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011神第103号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年5月21日（土） 09時40分ごろ	
発生場所	京都府舞鶴市長崎西方沖の長曾根付近 舞鶴市所在の舞鶴港ミヨ埼灯台から真方位103° 1,210m付近 (概位 北緯35° 30.0′ 東経135° 23.6′)	
事故等調査の経過	平成23年6月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船船番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報</p> <p>モーターボート <sup>たいこう</sup> 大幸丸、3.92トン 251-9407 京都、個人所有 船長、二級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	船底に擦過傷、プロペラに曲損	
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者3人を乗せ、平成23年5月21日09時00分ごろ舞鶴港第3区にある定係地を出港し、船長が操船して舞鶴港内の陸岸沿いを遊走した。</p> <p>船長は、出港前に海図などで浅所などの調査を行っていなかった。</p> <p>本船は、舞鶴港第2区の前島ふ頭沖から陸岸を右舷方に見て北進し、長崎西方沖を航行中、09時40分ごろ長曾根（洗岩）付近に乗り揚げた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西南西、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：波 なし、潮汐 上げ潮の中央期、潮高 約20cm（舞鶴西港）</p>	
その他の事項	本船の喫水は、船首約0.3m、船尾約0.6mであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり なし なし</p> <p>本船は、長崎西方沖を北進中、船長が出港前に海図などで浅所などの調査を行っていなかったことから、長曾根（洗岩）付近に向けて航行し、長曾根付近に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、長崎西方沖を北進中、船長が出港前に海図などで浅所などの調査を行っていなかったため、長曾根（洗岩）付近に向けて航行し、長曾根付近に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	